



現代表記で読みやすくした  
杉村楚人冠の随筆集『湖畔吟』を復刊

杉村楚人冠の随筆集『湖畔吟』を復刊

名称 : 『湖畔吟 現代表記版 注解付』

価格 : 600 円

販売場所 : 杉村楚人冠記念館、白樺文学館、教育委員会文化・スポーツ課（水道局 4 階）  
行政情報資料室（本庁舎 1 階）

杉村楚人冠の著書『湖畔吟』は、『アサヒグラフ』（朝日新聞社）に連載していた随筆をベースに、『文藝春秋』など他の媒体に執筆したものも若干足して集成された随筆集です。大正 13 年に杉村楚人冠が我孫子へ移住したことを機に書き始められたものであるため、我孫子での暮らしぶりや手賀沼の描写、あるいは我孫子から東京への通勤生活に関わる内容が多く、親しみが持てる随筆です。それだけでなく、楚人冠の連載を通じて、全国の『アサヒグラフ』読者が、我孫子、手賀沼の存在を知ったという意味では、我孫子市にとって記念碑的な作品であると言えます。

このたび杉村楚人冠記念館では、仮名、漢字表記を現代のものに改めて読みやすくしたうえ、内容の理解を助ける注解をつけて、『湖畔吟 現代表記版 注解付』として復刊しました。楚人冠の随筆の文体はもともと口語中心の簡潔なものですから、表記を改めたことで、ほぼ困難を覚えることなく読めるようになっていきます。我孫子市民の皆様にとっては、我孫子の昔の様子を知るには絶好の一書であり、市民でない方にも、我孫子の魅力を知っていただける一冊です。

杉村楚人冠の『アサヒグラフ』連載随筆は、『湖畔吟』、『続湖畔吟』、『続々湖畔吟』と三冊にわたり単行本化されています。杉村楚人冠記念館では、引き続き『続湖畔吟』『続々湖畔吟』も年に一冊ずつ復刊する計画です。

【問い合わせ】

我孫子市生涯学習部文化・スポーツ課

杉村楚人冠記念館 担当 高木

☎ 04-7187-1131

(内線 61-802)